

別表1 食育推進計画個別事業の評価結果

〔評価点の基準〕
 5…順調(100%) 4…おおむね順調(70%~100%未満) 3…一部遅延(50%~70%未満) 2…大幅遅延(0%超~50%未満) 1…未実施(0%)
 ★印は数値目標を掲げている事業

評価点数欄が斜線の事業は、計画上の実施予定年次が来ていないため、評価していないもの

◆庁内委員=庁内食育推進部会での評価点数 ◆推進委員=日野市食育推進会議での評価点数

大項目	中項目	小項目	事業名	事業No.	主管課	平成19年度評価点数			平成20年度評価点数			【20年度】 大項目ごとの平均評価点数	平成21年度評価点数			【21年度】 大項目ごとの平均評価点数	平成22年度評価点数			【22年度】 大項目ごとの平均評価点数	コメント欄 事業の進捗状況についてのコメントおよびその他のコメント
						主管課評価点	庁内委員評価点	推進会議評価点	主管課評価点	庁内委員評価点	推進会議評価点		主管課評価点	庁内委員評価点	推進会議評価点		主管課評価点	庁内委員評価点	推進会議評価点		
1 家庭における食育の展開																					
I 食育は家庭から・朝ごはんは元気の源																					
(1) 「TVを見ないで朝ごはん・夕ごはん」の推進																					
			② 朝ごはんの料理講座の充実	No.2	健康課	4.0	4.4	4.1	5.0	4.9	5.0	4.78	4.0	4.4	4.0	4.47	4.0	4.0	4.0	4.45	
(2) 保育園、幼稚園を通じた食育推進																					
			① 保護者向け朝食教室(公立保育園) (数値目標1対象事業)	★No.3	保育課	4.0	3.9	3.9	5.0	4.8	4.8	4.78	4.7	4.4	4.5	4.47	4.0	4.1	4.0	4.45	・簡単レシピは大いに評価できる。 ・ネットの活用が普及したので、レシピ紹介から事業内容を検討する時期ではないかと思われる。
			④ 朝ごはん声かけ運動 (数値目標1対象事業)	★No.6	保育課	4.0	3.8	3.8	5.0	3.8	4.3	4.78	5.0	4.7	4.9	4.47	4.7	4.9	4.7	4.45	・朝ごはんアンケートで「ほとんど食べない」と回答した1%はどんな家庭であるのか。数値目標はほぼ達成したと考えてよいか。 ・朝ごはんの声かけが、「朝ごはんを食べる」ことから「品数が増えた」と朝食の内容にまで発展した点が評価できる。 ・計画当初と保護者の世代が入れ替わり、個人のプライバシーの問題等を考慮する時期ではないかと思われる。 ・今後、朝ごはん内容の充実がはかれるよう情報発信を望む。
(3) 保育園、幼稚園へ就園前の子どもたちへの食育推進																					
			① 乳幼児の食生活の支援	No.10	健康課	4.0	4.4	4.1	5.0	5.0	4.9	4.78	5.0	5.0	5.0	4.47	5.0	5.0	4.9	4.45	・離乳食は市販のものしか使用しない、作り方がわからないという保護者の方々が多い中、離乳食教室は重要な役割を担っていると考えられる。今後の継続が期待される。
			⑤ 子ども家庭支援センターにおける取り組みの充実	No.14	子ども家庭支援センター	5.0	4.9	4.8	5.0	4.9	4.9	4.78	2.7	2.4	3.4	4.47	4.0	3.9	4.1	4.45	・回数をもっと増やし、場所も2会場だけではなく、増やして実施すると良い。
(4) 妊産婦に対する食育																					
			① 若年(ママ・パパ)世代の食生活を見直そう! マタニティクッキングの充実	No.15	健康課	5.0	5.0	4.9	5.0	5.0	4.8	4.78	5.0	5.0	5.0	4.47	5.0	5.0	5.0	4.45	・今後も参加者が増えるよう工夫して行って欲しい。
2 学校、児童館、保育所などにおける食育の展開																					
II 安全安心でおいしい学校給食																					
(1) 「ひの野菜給食月間」の制定																					
			① 「日産野菜給食の日」	No.17	学校課	斜線	斜線	斜線	5.0	4.3	4.4	4.53	4.0	3.9	4.3	4.43	4.0	3.6	3.9	4.15	・ある中学校では給食日より「日産野菜給食の日」について説明があり、18日の献立が平山汁となっていたが、給食日よりで食育の日について全く何も触れていない小学校もあった。全小中学校で食育の日について紹介されるといいと思われる。
			⑥ 学校から家庭への情報発信 (数値目標2対象事業)	★No.22	学校課	5.0	4.8	4.8	5.0	4.6	4.8	4.53	5.0	4.4	5.0	4.43	5.0	4.3	4.4	4.15	・給食試食会は毎年小学一年生のみを対象として開催されている学校もあるが、全ての小中学校が全年齢対象に毎年開催されるようになるといいと思われる。 ・保育園と同じで、保護者世代が入れ替わり、内容の充実が求められているのではと思われる。
(2) 学校給食日産野菜の利用促進																					
			③ 学校給食用地元野菜など契約栽培システム ~輸送エネルギー節約によるCO2排出削減~ (数値目標3対象事業)	★No.27	産業振興課	5.0	4.9	4.9	5.0	4.9	4.9	4.53	5.0	5.0	5.0	4.43	5.0	4.4	4.6	4.15	・平成22年度の日産野菜利用率が16.2%とあるが、大幅に利用率が減少したのは本当に気候だけの原因であるのか。 ・福島原発事故以降、エコと食の安全の両立がよりシビアに求められるようになったので、更なる検討が必要ではと思われる。
(3) 学校、児童館、保育所などにおける食育の均質化と質の向上																					
			③ 私立保育園、私立幼稚園における食育推進	No.33	保育課	4.0	4.1	3.9	5.0	4.6	4.5	4.53	2.3	2.9	3.0	4.43	3.5	3.4	3.2	4.15	
			⑥ 食べ残しゼロの呼びかけ~ごみ減量によるCO2排出削減~	No.36	ごみゼロ推進課(学校)	5.0	4.8	4.8	5.0	4.8	4.8	4.53	5.0	4.9	4.8	4.43	4.0	4.0	4.1	4.15	
(4) 体験による食の重要性の理解の促進																					
			① 調理体験の促進	No.40①	子育て課	5.0	4.9	4.8	5.0	4.9	4.9	4.53	4.7	4.6	4.9	4.43	4.9	4.3	4.3	4.15	・各保育所、学校独自で調理体験が実施されているようであり、調理をすることで苦手なものを食べることができるようになり、食の話題を中心として友人や家庭での会話がはずんでいるものと考えられる。
				No.40②	保育課	5.0	5.0	4.8	5.0	4.8	4.8	4.53	5.0	4.6	4.9	4.43	5.0	4.7	4.6	4.15	
				No.40③	学校課	3.0	3.0	3.3	4.0	3.4	3.9	4.53	3.0	3.0	3.5	4.43	3.0	3.3	3.8	4.15	
				No.40④	中央公民館	4.0	4.3	4.0	4.0	4.3	4.0	4.53	4.0	3.0	3.6	4.43	4.0	3.7	3.9	4.15	
			② 体験農業の推進	No.41①	学校課	5.0	4.0	4.0	5.0	3.9	4.0	4.53	5.0	4.6	4.9	4.43	5.0	4.6	4.7	4.15	・学校における体験農業は多くの小学校で実施されている。水稲による農業体験だけでなく、平山小学校では平山地区に伝わる伝統的な陸稲による農業体験もできている。また、東光寺小学校、日野第四小学校等では東光寺大根のたくわん漬けなども行われており、伝統的な食文化の継承につながるものと思われる。
				No.41④	郷土資料館	5.0	5.0	4.8	5.0	5.0	4.8	4.53	4.3	4.1	4.8	4.43	4.0	4.0	4.1	4.15	